

(臨床研究に関するお知らせ)

淀川キリスト教病院の循環器内科受診歴のある患者さんへ

淀川キリスト教病院では、以下の臨床研究を実施しています。

1. 研究課題名

重症大動脈弁狭窄症を背景とした非代償性心不全への緊急大動脈弁バルーン形成術の効果の検討

2. 研究責任者

兵庫県立淡路医療センター 循環器内科 医長 岩崎正道
淀川キリスト教病院 循環器内科 副部長 西尾亮

3. 研究の目的

近年、高齢化に伴い重症大動脈弁狭窄症を背景とした急性心不全の頻度が増加しています。この疾患に対する絶対的に推奨される治療は存在しません。治療の選択肢として早期に大動脈弁バルーン形成術を施行することが予後改善に帰依する可能性があります。本研究では、重症大動脈弁狭窄症を背景に、血行動態の破綻した心不全患者に対して、来院から 12 時間以内に緊急大動脈弁バルーン形成術を施行した場合の予後改善効果を明らかにすることを目的としています。

4. 研究実施予定期間

2015 年 1 月 1 日 から 2023 年 3 月 31 日

5. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2015 年 1 月から 2022 年 3 月の期間で、当院に重症大動脈弁狭窄症を背景とし、血行動態の破綻した心不全の診断で入院した患者を対象としています。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくデータは、年齢、性別を含む心不全に関する情報です。

(3) 方法

対象期間中に重症大動脈弁狭窄症を背景とし、血行動態の破綻した心不全の診断で入院した患者様の予後を追跡し、緊急で大動脈弁バルーン形成術を施行した群としなかった群の予後を比較します。

中央研究機関：

兵庫県立淡路医療センター

共同研究機関：全 6 施設

淀川キリスト教病院、赤穂市民病院、甲南医療センター、神戸医療センター、済生会中津病院

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

淀川キリスト教病院 循環器内科 西尾亮
〒533-0024 大阪府大阪市東淀川区柴島 1-7-50
TEL: 0120-364-489